風地蔵新聞

第116号
発行　編集
風地蔵
白石　美帆
〒503-0922
岐阜県大垣市
馬場町85

ヤフーブログ
毎日更新中
炎の女みほ日記
http://blogs.yahoo.co.jp/rion5230

昼飯大塚古墳

原　由里子

今年の4月6日（土）に、大垣市昼飯町に、全長百五十メートルの巨大古墳歴史公園が完成しました。

昔から大垣市赤坂の方に、古墳があると聞いていましたが、こんなに大きいものとは思いもしていませんでした。

完成前に一度見に行った事があります。その時は、古墳の形にわざわざ作ったのだと思い、「へーっ。大っきいな～」くらいで見てました。

毎月配られる情報誌「咲良」に詳しく書いてあり、目にするまで、出来あがるまでにかなり時間が掛かっている事を知りました。

古墳自体の築造年代が、四世紀末（古墳時代中期）一六〇〇年前の古墳だそうです。

三世紀～六世紀にかけて古墳時代は、弥生時代と飛鳥時代（卑弥子や聖徳太子や蘇我入鹿が居る時代）の間に位置し、日本の基礎を形成した時代と言われています。

奈良にヤマト王権が誕生し、各地の豪族と統治しつつあった頃で、全国各地で多くの古墳が造られました。

古墳の大きさや構造は、権力者の力やヤマト王権の影響などを知る手掛かりにもなっています。

古墳の調査を始めたのが、平成五年だそうで、当時は竹藪の荒れた小山だったそうです。

実はこの古墳の近くに、同級生が通っていた高校の部活の先輩が住んでいて、友達とよく遊びに行っていたので、鬱蒼とした竹藪があったのを思い出しました。

その先輩から、「あそこ古墳やよ。」と聞いた事がありました。ちなみに男子です。

ものすごい余談ですが、その先輩は私の友達が好きで、学校の帰りに近くの公園に呼び出したそうです。友達は、別に好きでも無いけど、薄々気づいていたそうです。「告白かな？」と。

けど、待てど暮らせどその先輩は何も言わず、二時間後その先輩が口にした言葉が「何、言いたいかわかるだろ。」だそうです。

その友達がどう返したかは忘れましたが、友達も良く待ったと思います。けど、その話を聞いた私が言った言葉は覚えています。

「わかる訳ないだろ！」

話は戻ります。

古墳から出土した遺物も結構あり、円筒埴輪、形象埴輪（家・蓋・盾・靫・甲冑形）や勾玉・ガラスなどの玉類や土器に土製品など。

出土した遺物の展示はするそうですが、数が多くてまだ場所は決まってないみたいです。

調査から完成までに二十年をかけ、身近に歴史を感じる事が出来ます。

完成記念式典があった四月六日（土）は、午前中は曇り空、午後から雨でした。

休みの日、自転車で昼飯町まで来たものの、少し場所がわからずうろうろしました。大きな古墳ですが、高い所で十三メートル。民家の中にあるので意外に見つかりにくいです。

やっと古墳を見つけ、古墳の周りを一周してみたり、登ったりあちこち歩きました。

階段があり、後円部という一番高い所に登ると周りを一望できます。小高い丘という感じです。

古代の姿を残した、復元ゾーンでは、出土した葺石を洗浄して再利用しているそうです。

この場所は地元の人達で復元していくコーナーもあります。

墳丘の周りには、魔よけの意味を持つ赤い円筒埴輪がズラリと並び、埴輪も再現してありました。

古墳を見学に来る人以外にも、公園という事で小学生が遊んでいたり、犬の散歩をしている人もいました。

公園といっても古墳なので、ベンチに座ってゆっくり話をするという気持ちには私はならなかったです。なんせ人のお墓ですからね。そこを登るのですから、ある意味失礼な行為なのかも。

そんな事を言いながらしっかり登ってきた私です。

おわり

あまでうすです

今から約一万二千年前、現在のアフリカ大陸と南米大陸が分裂し、大西洋上に大陸が出来た。そこには高度な文明を持った王国が存在していたと云う。豊富な穀物や果物が収穫され、金や銀それ以上に希少な『オリハルコン』と呼ばれる超金属などを産出し、その『オリハルコン』は、飛行船を宙に浮かせる事が出来たと云われる。また数多の戦車、軍船を所有し、それに依って国は異常に栄え、恵まれた国家が出来上がって行った半面、国王も人人も次第に堕落の道を辿っていった。それが神の怒りに触れ、大地震や大洪水を起し、一夜にして海底に沈んだとされている。これが幻の大陸と云われる「アトランティス大陸」である。古代ギリシャの哲学者プラトンの書いた二冊の本から、この話が広まったとされる。自著の裡でプラトンは「この話は全面的に真実の話であって・・・」と書いてあると云う。潜水調査船「しんかい六五00」が、リオデジャネイロから南東約一五00キロの沖合、深さ九00メートルの海底に、花崗岩で出来た崖や、その周辺では石英と呼ばれる鉱物で出来た砂などが発見された。海底の大地の幅が広い所では千キロもあり、大陸の様な陸地があった痕跡だと発表している。そんな発見もあり、アトランティス大陸ではないかと話題になった事は記憶に新しい。一九九八年「邪馬台国はどこですか？」と云う連続異色短編集でデビューした、好きな作家のひとりでもある鯨統一郎著「新・世界の七不思議」を読んだ事がある。その七不思議とは《アトランティス》《ストーンヘイジ》《ピラミッド》《ノアの方舟》《始皇帝》《ナスカの地上絵》《モアイ像》の七つであるが、最も古い七不思議は紀元前二世紀頃、アンティパトロスが選らんだ物とされている。しかし、内容は全く判っていないと云う。その後、紀元前一五0年頃のギリシャの数学者フィロンの選んだ七不思議はよく識られている。《エジプトの大ピラミッド》（エジプト）、《バビロンの吊り庭（空中庭園）》（イラク）、《エフェソスのアルテミス（ディアナ）神殿》（トルコ）、《オリンピアのゼウス（ジュピター）像》（ギリシャ）、《ハリカルナッソスのマウソロスの陵墓》（トルコ）、《ロードス島のコロッソス（大巨人）》（ギリシャ）、《アレクサンドリアのファロス（燈台）》（エジプト）。以上の七不思議。これらは、一九七八年コンゴ共和国、八0年ハンガリーが発行した『世界の七不思議』の切手にも描かれている。またファミコン全盛期時代に、サンソフトが出したアクション・ゲーム、その名も「アトランチスの謎」と云うソフトにハマって、しこたま遊んだ事がある。行方不明になった師匠を探す為に、主人公は一人で旅立ち、全百面から成るアトランチス大陸で冒険を繰り広げると云うゲームである・・・が、何故か途中で挫折した。「謎」とうたってるだけあって、ゲームは謎だらけであった記憶がある。今にして想い返せば懐かしいゲームだ。蛇足だが、不思議と云えば、八六年に中森明菜が出したアルバム『不思議』をよく聴いていた。斬新なアルバムで、ヴォーカルを楽器の一部とみなし、エフェクト処理され、エコーの掛った摩訶不思議な仕上がりになっていた。果して、世に云う《不思議》は尽きる事がない。

九州の空から

大垣では、Gは水を張るだけとなったW田植えをすりました。そうしたら、あたしの1年でるに風景が見られ一番好きな季節がやってまし九州は梅雨田植えます。カエルの子守唄です。カエルの合唱は安心を与えてくれます。思い切ってふるさと九州を吸いこんで・・・と言いたいけど、なんとpm2・5という得体のしれない大気汚染のせいで、それは台無しですけどね。鳥が啼く、虫がなく、カエルがなく、生きるいのちの声をなるべく聞いて過ごしたいです。

第116号　風地蔵新聞　2013年6月3日

九州旅行

鎌澤　宣子

手書きの看板にひかれ、入った店は、駐車場から猫がいっぱいいて少しびっくりです。店の入り口には、「愛想のない店員がいる店です」と書かれた看板もあります。どういう事だろうと入ると、本当に無愛想でどっちに行ったらいいかわからず、とりあえず左の方に入っていって、つきあたりの席に座りました。お水もお絞りもセルフサービスのようですが、何の説明もありません。メニューもどちらかというと若い方向けでボリュームがあって、お値段もリーズナブルな感じです。私とリーちゃんはパスタとドリアのランチで、サラダとコーヒー付き。社長はハンバーグとフライとパスタのセットで、別にライスとコーヒーを頼んでいました。サラダはキャベツのザク切りがお皿にのっていて、一瞬目が点になりました。リーちゃんは「馬の餌エサないんやで、これいらん。」といって手をつけません。社長と私は、もったいないし、これはこれで美味しいよと言って食べました。その後はそれぞれに頼んだものが来て、少しづつ皆のをへずっていただきました。味はとても美味しかったです。社長もリーちゃんも体がまだ本調子ではないので、量の多さに「もういらん」と、言って残していたので「もったいない根性」が出て、それも食べました。もうお腹いっぱいで入りません。ごちそうさまでした。

外に出てから「またこようとは思わんね。」と社長が言うように、学生さんやサラリーマンのがっつり食べたい人はとても満足行くでしょうが、雰囲気的にも入りづらいかなというのがありました。

さあいよいよ原鶴温泉です。どんどん山を登っていきます。

突然社長が、「いい！いく！！覚悟してよ！」といって、ガードレールの途切れた絶壁に突き進んでいきます！最初、「えっ？何？何が起こったの？」という感じで一瞬、車が宙に浮いたような感覚にとらわれた瞬間、すごい下り坂を降りていきました。その坂を下りた所に、目的の日帰り温泉がありました。断崖絶壁に建つ温泉で、社長が受付をして下さっている間に、そこから見える景色とお庭に見とれていました。リーちゃんはやっぱり調子が悪く、車にいるということでしたので、3人でお風呂に入っていろんな話をしたかったのにと残念です。

お風呂は山肌にくっついている木の階段を降りたあずまや風の建物の中にあります。とても風情があり、ワクワクしながら入りました。

昨夜は長旅で疲れていたのもあって、お風呂に入らず寝てしまったので、お湯につかる前にシャワーを浴びました。なぜか蛇口が言う事を聞かず暴れまわってしまって、隣の社長が、「もう、冷たいって。かかった。」と、大騒ぎでした。湯船は、ぬるっとした感触で肌にまとわりつくようで、「おおぉ！」という驚きと生き返ったような感じです。窓から望む筑後川と山々の景色も絶景です。「眼下にみえるのが、原鶴温泉街やよ。長良川みたいに、鵜飼もやるって。」とても小さく見えて、かなり上の方まで来たのだと改めて思いました。ゆっくりつかりながら、社長とも久しぶりにいろんな話をして、お互いに安心しあったように思います。「あの角のとこは、ハーブ湯で、めっちゃ熱いんやよ。入ってみて。」と、一角の少し高くなって囲ってある所に入ると、本当に少し熱いです。けど私は、熱いお風呂が好きなので、とても嬉しい熱さです。そこに入ってからが、もっと長く話をしていて、社長が、「あのさ、熱くない？のぼせへん？」と心配し始めたほどです。「大丈夫ですよ。いつもこれくらいに入っているので。」といっても心配するので、普通の温度の方へ移動しました。でも、久々にゆっくり温泉につかれて幸せでした。

実は社長と行く温泉はいつもゆっくりつかれません。「あれも見せたいこれも教えたい」と思う方なので、「ゆっくりはいっといいよ。先に上がるでね。」といっていつも先に出ます。待たせるのも悪いので、もう少しだけ入ってから出ても「遅い。次の所に連れて行きたいのに。十分も待った。」と言われます。社長と温泉にきて、こんなにゆっくり入ったのは初めてです。それでもたぶん、三，四十分位だと思います。山を下ったあたりで、社長が上着忘れた！と気がつき、脱衣所のロッカーに引き返しです。今度は私がリーちゃんと変わって、前に乗っていたので、ガードレールを突き破って、空を車でダイビングしてる感触がもっとリアルに味わえました。「ジェットコースターみたい！」と心の中で呟いてました。次に連れていってもらったのが、佐賀県鳥栖の大きなアウトレットモールです。この続きは次回にします。

母の日のプレゼント

大橋　美紀

毎年母の日が近くなると何を送ろうかと悩みます。私には実の母と、義理の母と、2人居ます。お洋服に靴、エプロンに風地蔵で人気のログゲタと色々な物を日頃の感謝の気持ちとしてプレゼントしてきました。今年はたまたま5月4日に休みを貰いましたので、母に電話を入れ、どこか一緒に行こうと母に伝えました。この季節、「藤」が見頃なので、江南の曼荼羅寺はどうかと思い、電話すると「行きたい」と即答でした。江南に母が10代の頃からの友人が居るらしく、その方にも会いたいそうです。さあ、どうやっていくかです。いつも車だし、混雑も考え、電車で行く事に決めました。電車なんて何年ぶり、いや何十年ぶりでしょうか。曼荼羅寺までのルートや運賃を調べ、母とは8時30分に大垣駅で待ち合わせとしました。当日の朝、私は5時に起き、犬の散歩、洗濯に掃除、朝ご飯の支度をし、出掛ける前にヘトヘト。皆は私が家を出る8時でもまだ夢の中。犬に「行ってきます」と言い、大垣駅へ向かいました。母はもう、私よりも先に駅に着いていました。大垣からJRで岐阜まで行き、岐阜からは名鉄で江南まで行きました。久しぶりの電車でなんだか新鮮な感じ、そして空いてましたのでゆったり行けました。駅はすごく変わっていましたが、迷うことなく、無事到着。駅からはバスに乗り換えようと思ったのですが、母の友人が駅まで迎えに来てくれました。駅から15分位で、曼荼羅寺に着きましたが、やっぱりものすごい人出です。中は広く、六尺藤や八重の藤、ピンクの藤に白の藤と本当に見事でキレイでした。母は写真を撮って欲しいといい、友人と、私と写真を撮り、みごとな藤の下を3人で歩きながらおしゃべりをして日ごろとは違った時間が流れていきました。その後も3人で、食事をしたり、お茶を飲んだりと楽しい時を過ごしました。帰りの電車の中で母は、撮った写真を何度も何度も見ていました。本当に嬉しかったんでしょうね。楽しかったんでしょうね。母の日には何かプレゼントをと思っていた私ですが、母との小旅行のプレゼントもなかなかいいもんだなと思いました。また来年もと考えています。義理の母も一緒に行こうと誘ったのですが、少し体調が悪く、行けなかったので、風地蔵で教室に参加して作ったモビールをプレゼントしました。手づくりなので義母もすごく喜んでくれました。来年は実母、義母と3人でちょっとそこまでの電車の小旅行に行きたいと思っています。

ちょっと立ち話し

原先生の、社会の教科書を読んでる見たいと思ったら、突然あ朝ドラのような展開に！そして、また今回も、パソコンで出てこない字の連打。手書きパッド出してひとつひとつ漢字を探す事になりました（笑）。若くて美人な大垣の生き字引です。

大橋さんのお母さんとの電車の旅、いいですね。心に残る一番の素敵なプレゼントですね。

店長、最初、どんなとこに連れてきたんだって作文で文句かと思ってびっくりしました（笑）お風呂、あれは、ダンナちゃんが長いん㊐谷 殁～40分入るんです。だから、いつも先に待つのは冬は風邪ひくので、だんだん長風呂になったというわけもあります。。この日は、からだも調子悪くその後の予定も無かったしね。次はいっぱい回りましょう（笑）

みほ

原先生の書く作文って、リアルですよね。（エステのお客さま）

森先生の所で新聞読みました。りおんちゃん大変だったみたいですね。でもお母さんの近くでよかったですね。（琴演奏者美人姉妹のママ）

新聞入れてもらってありがとう。おもしろいね。娘さんの事も楽しみ。ただ、ページをめくるのがわかりづらくて、あれ、この続きはどこ？と思ってしまうよ。（近所の奥さま）

百梅園主人の両親と見に行った事があります。私の息子も6年前、成人式のスーツも自分で選び、写真嫌いで成人式の写真が1枚も無いです。息子も、小さい頃耳鼻科にかかっていて、一軒の病院で同じような思いをした事があります。奥田さんの行動力には感心します。あまでうすさんが書くと、どんな絵なんだろうととても興味がわきます。（鎌澤）

りおんちゃん4月より社会人になられて、先輩や上司との人間関係、慣れない仕事に、覚えなくてはいけない事が山の様にあります。多分そのストレスから耳が悪くなったのかもしれませんね。学生と社会人の違いも少しづつわかり始めている頃ではないでしょうか。頑張れりおんちゃん。（大橋）

社長のところは何か必ず起きるイメージが・・。ずーっと平和で穏やかが一番ですが、それだけでは何も記憶に残らないもんで。どんなトラブルも過去になって、笑い話に出来るからいいと思います。九州は温泉がいっぱいあるからまた行きたいですが、すぐは無理です。子供さんの成長て早いですね。時が経つのは早い。お店の庭は鳥さんが落としていく種のおかげで知らない植物があったりで楽しい発見が出来ますよ。（原）

ちょっと俳句

風地蔵
緑風そよぎて
心安らぐ

岡崎　保夫

春の風
ふかれよせられ
風地蔵

多田秀夫

にわきれい
ねこちゃんきたよ
かわいいな
うすいふうか
すすきはね
かぜにゆられて
なみになる
かざじぞう
ぜんざいたべて
あたたまる
うすいゆう

風地蔵
異空間なり
秋日和

奥田　加代子

九州の
伝統伝える
粋な店

nori

暖かい
日射しに
さそわれ
ふみ入れた
地蔵坊喫茶は
夢のよう
紫芋まんじゅう
たべながら
五七五を
読む内に
芭蕉の日々を
思い続ける
小春日和に

川風

しらいしみほ

テレビ体操でのラジオ体操をはじめて、2週間。日曜日から始めて、きょう日曜日まで ず～っと続けてます。

変化！！

きっかけは、又、ぎっくり腰の前兆か、ちょうど1年前にぎっくり腰したあの痛みが出始めたのでした。最初、ひさしぶりにプールに行きましたでも毎日いけるか、わからないので、それよりも、毎日やれる事をやろうと、大橋さんのラジオ体操の話から、そうだ！それがあった！とはじめたのでした。ラジオ体操初めて徐々にですが、腰の方痛みが和らぐような気がします。

最後まで一番痛みの元のような所が残りましたが、1～2日で足の付け根の痛みは消えました。そしてちょうど1週間目で気がつけば腰の痛みもとれてました。すごい！！

6時25分から31分までがテレビ体操。31分からラジオ体操第1か、第2。何曜日か忘れたけどテレビ体操がなくて、ラジオ体操の第1第2ぶっ続けの日が、週の中で1日だけあって、ちょいハードです。

「たこはじめ」さんの日が、けっこうきついかも。

わけあって、元気のよすぎるりおんが寮を出て自宅からの通いとなりました。

しごとは今まで以上、がんばって行ってます。

あわてて、定期買ったり、郵便局へ、転出届だしたり、プチ引っ越し（近いんで）したり、大慌てでしたが、本人はこれまでにないほど落ち込み、人生を考えたあとは、心機一転、すこぶる仕事に意欲を燃やしてる今日この頃です。

一番本人が辛い日に、大垣からの宅急便と、送られてくる風地蔵新聞が寮のテーブルの上にだいじに置いてありました。

一人じゃない。そう思ったのではないでしょうか。

りおんからこんなに仕事の話を聞いたのは、はじめて！というくらい話す話す！！「あんね、」「お父さん聞いて！」「今日ね、」4時半出の勤務、22時終わりの勤務と、数あるシフトが毎日変化するのですが、遅くにドアのカギをあける音がします。耳を済ませると、「あーつかれたー」と玄関で細い声がしています。

そーっと炊飯器をあけてご飯食べてます。お風呂に入って、制服を洗濯して干して、ころっと寝ているようです。8時半に寝ていたあたしも、やっぱり気になって起きている事が多く、ごそごそ起き出すと、今日あった事を話しだします。昔から何でも話す子だったけど、高校卒業後、自動車学校に行っている、就職前や、寮に入ってからはあまり話もしてなかったような気がします。

「家におるのは、自立した大人になるための練習やでね。」とルールを作ります。ただ、弁当だけは作ってやろうと、毎朝2人分の弁当を作るのが楽しみです。

「おかあさん。弁当おいしい！」と、毎日言います。「先輩が、すごいな！弁当自分でつくったんの？って言われ、はい作ってますって言いたいけど、親です。」って言いよる。」

「友達がさ、いっぺんお母さんの弁当食いたいって。」と、毎日言うので、本当に弁当から愛情が伝わり、本人の不安も少

たら、20才になれば、なんかとっても変わってる自分が居ると思うんやて。」

しごとの厳しさ社会の厳しさの中で、少しづつ大人になっていってる気がします。また応援して下さい。

6月号　若い衆の旅立ち

ウチの23歳の若い衆が突然辞めた。朝、出てこなくなり、自分も電話もせず、
そのまま自然消滅。中学を卒業してから7年、大学生が卒業して社会人一年目と同い年。
このままでは「作業員」のままなので、ちょっと何とかしてやろうと色々してみたのが裏目になったみたい。

挨拶もなく、突然だったけど、自分的には本当にびっくりするくらい何とも思っていない。
冷たい人間かも・・・・　人生は自分で何とかするしかない。それにはいろんな選択肢がある。

「逃げること」は基本的に悪いことではないと思っている。
案外、そんなに迷惑はかからない。押しつぶされてしまうより、さっさと逃げてしまったほうがいい。
自分も何度か逃げたことがあるから良くわかる。

いざとなったら逃げるべし（若いうち）

自分は、もう、逃げないけど。

庭師　奥田良樹